

令和5年9月熊本県議会定例会

農林水産常任委員会報告資料

- ① 大雨（6／28～7／3）による
農林水産関係被害及び対応について

農 林 水 産 部

大雨（6／28～7／3）による農林水産関係被害及び対応について

農林水産政策課

7月3日までの大雨による農林水産業の被害(8月31日確定)

項目	主な被害状況	被害箇所数等	被害額	主な被害地域
農作物等	水稻、野菜の土砂流入、冠水被害、採卵鶏のへい死等	58.8ha	82百万円	上益城、芦北、阿蘇
農業施設	農業用機械の損壊、畜舎、農舎等への土砂流入	53箇所	125百万円	上益城、阿蘇、芦北
農地・農業用施設	農地への土砂流入、畦畔崩壊、道路、用排水施設の被害等	4,355箇所	8,202百万円	上益城、阿蘇、球磨
林業	山腹崩壊や林道の被害等	83箇所	1,557百万円	球磨、上益城、阿蘇
水産業	流木の漂着、航路標識支柱の被害、ヤマメ養殖施設の被害	10箇所	20百万円	県央、宇城、玉名
(合計)			9,985百万円	

(注)被害額については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります。

対応等

- 農作物の品目ごとの事前・事後対策を取りまとめた、「大雨に伴う農作物被害防止技術対策」を発出し、農家等へ周知(6月30日(金))。
- 被害の大きい益城町については、益城町杉堂の取水施設が被災し、受益農地(12ha)への用水供給ができなくなっていたため、応急措置の工事を実施(7月12日(水))。併せて県の技術職員による支援を実施。
- 今回の大雨被害は、8月30日付けで「激甚災害」に指定され、農地等の復旧事業に対する補助率が1割程度引き上げられる。
- 農地、農業用施設、山地、林道等の早期復旧を図るため、9月補正予算において、約2,033百万円を提案。

7月3日までの大雨による農林水産関係被害状況

